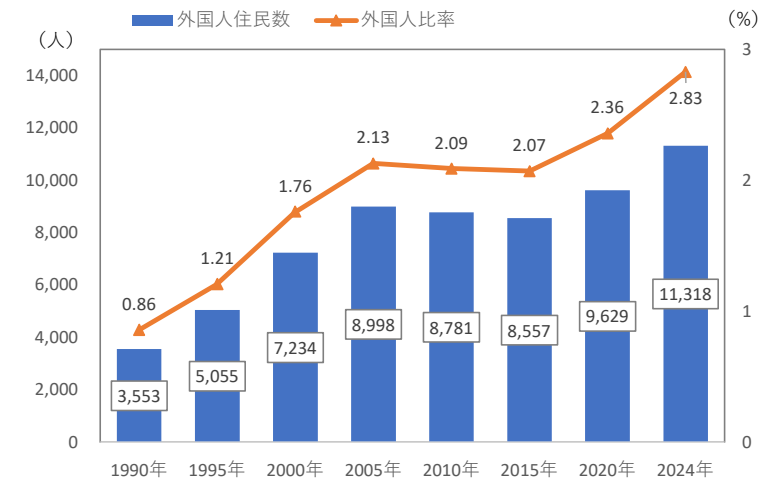


1. 岐阜市における外国人住民数と外国人比率の推移

(各年12月31日現在、2024年は6月30日現在)



- ・平成2（1990）年に3,553人であった岐阜市の外国人住民数は、令和6（2024）年6月末現在11,318人、外国人比率は2.83%に。
- ・今後も「特定技能」の対象分野の拡大や育成就労制度の新設等により、岐阜市の外国人住民はさらに増加することが予測される。

2. 地区別の外国人比率上位10地区

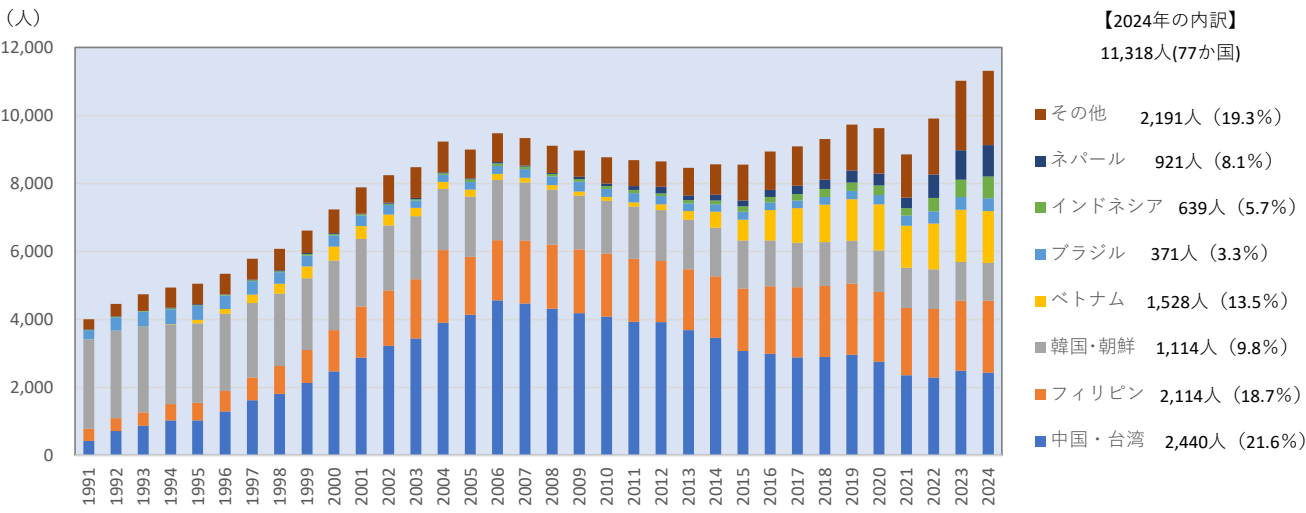
(2024年6月30日現在)

順位	地区名	外国人比率	人数(人)
1	黒野	6.75%	745
2	日置江	5.81%	271
3	茜部	5.34%	755
4	明德	5.01%	142
5	三里	4.79%	685
6	木之本	4.19%	234
7	長森西	4.13%	385
8	徹明	3.99%	213
9	市橋	3.72%	581
10	本郷	3.65%	219

- ・岐阜大学のある黒野地区が最も高く6.75%となっているが、岐阜市の外国人住民は比較的散在している傾向にある。

3. 外国人住民数の国籍別推移

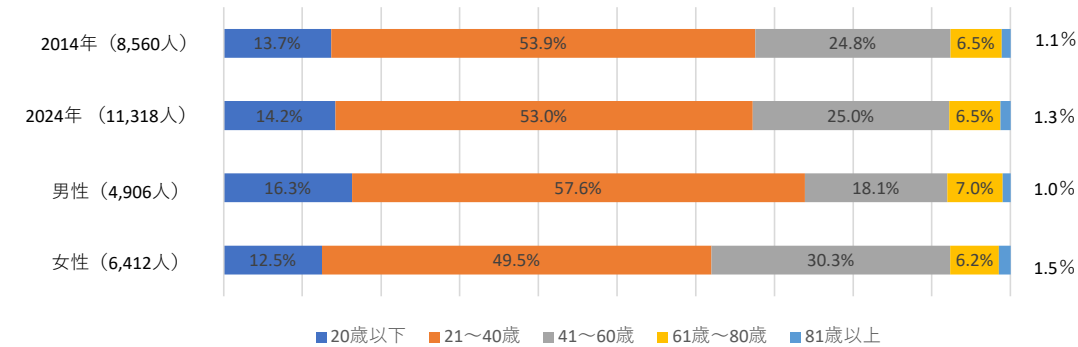
(各年12月31日現在、2024年は6月30日現在)



- ・令和6（2024）年6月末現在の外国人住民の国籍は、中国・台湾が21.6%と最も高く、次いでフィリピンが18.7%、ベトナムが13.5%、韓国・朝鮮が9.8%、ネパールが8.1%などとなっている。
- ・岐阜市には77か国の外国人住民が暮らしており、多国籍化が進んでいる。

4-1. 外国人住民の年齢構成

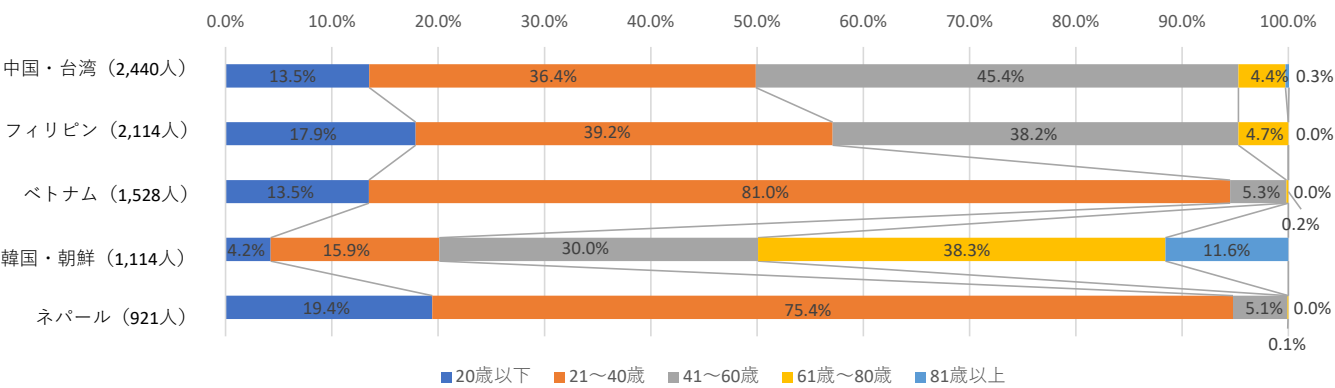
(2014年は12月31日現在、2024年は6月30日現在)



- ・令和6（2024）年6月末の年齢別外国人住民の割合は、21～40歳が53.0%、次いで41～60歳が25.0%、20歳以下が14.2%、61～80歳が6.5%、81歳以上は1.3%となっている。
- ・平成26（2014）年と比較すると、41～60歳は0.2ポイント、81歳以上は0.2ポイント上昇しており、外国人住民の高齢化はやや進んでいる。一方で、20歳以下は0.5ポイント増加しており、近年の若年層の増加も顕著である。
- ・今後も、定住者及び永住者の高齢化、留学生や家族帯同による若年層の流入によって、岐阜市の外国人住民は幅広い年齢層であることが予想される。

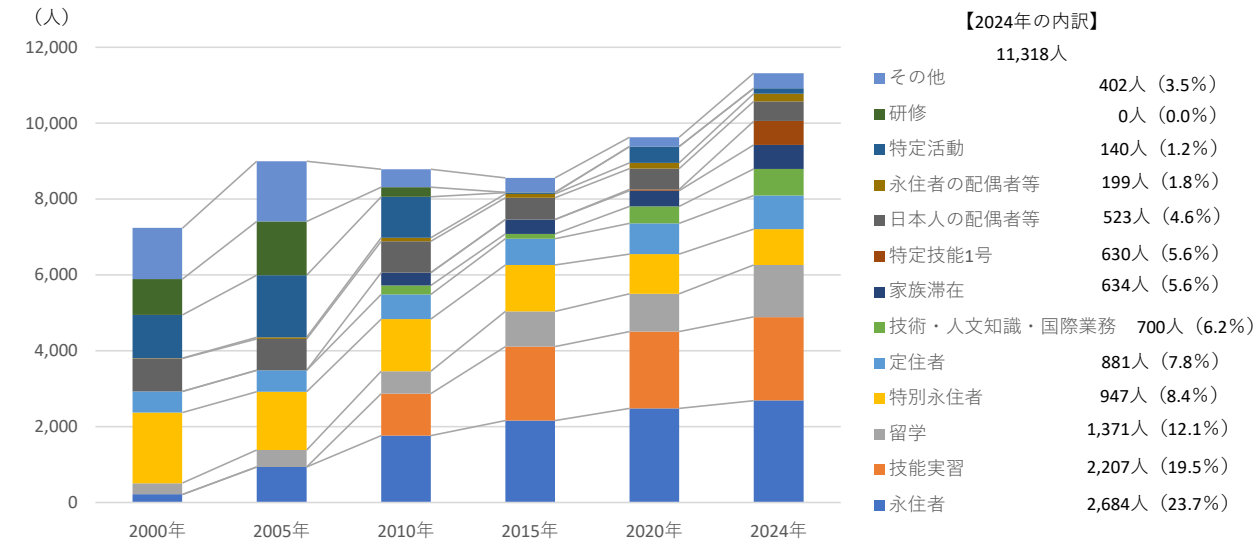
4-2. 外国人住民の主な国籍別年齢構成

(2024年6月30日現在)



- ・フィリピン、ベトナム、ネパールは、21～40歳が最も高くなっている。特に、ベトナム、ネパールは、21～40歳が75%を超えており、40歳以下が90%以上を占めている。
- ・一方で、中国・台湾、韓国・朝鮮は、41歳以上が50%以上を占めている。特に、韓国・朝鮮は、61～80歳が38.3%と最も高く、61歳以上が約50%を占めている。

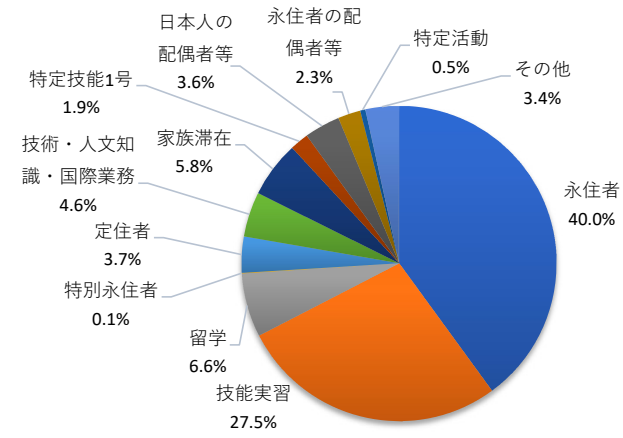
5ー1. 外国人住民数の在留資格別推移（各年12月31日現在、2024年は6月30日現在）



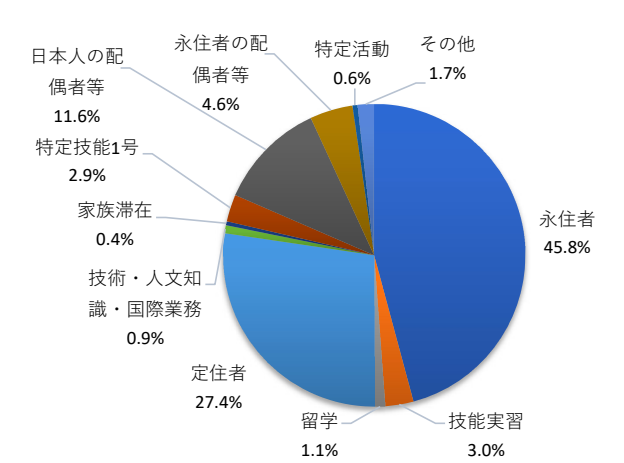
- ・令和6（2024）年6月末現在の在留資格の内訳は「永住者」が23.7%と最も高く、次いで「技能実習」が19.5%、「留学」が12.1%、「特別永住者」が8.4%などとなっている。
- ・現在までの推移に着目すると、「永住者」や「技能実習」、「留学」が大きく増加している。また、「技術・人文知識・国際業務」や「特定技能1号」も増加傾向である。

5ー2. 外国人住民の主な国籍別在留資格内訳（2024年6月30日現在）

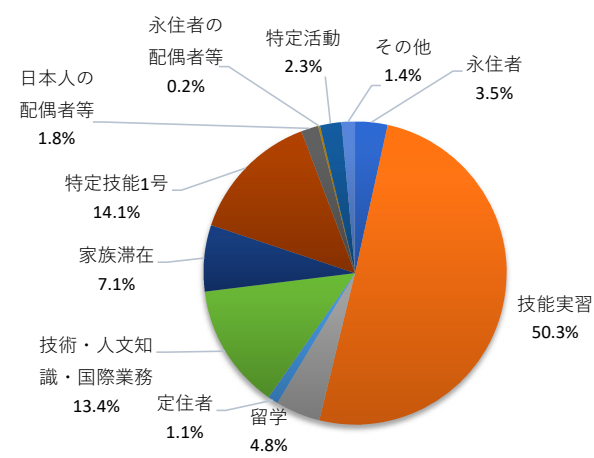
① 中国・台湾（2,440人）



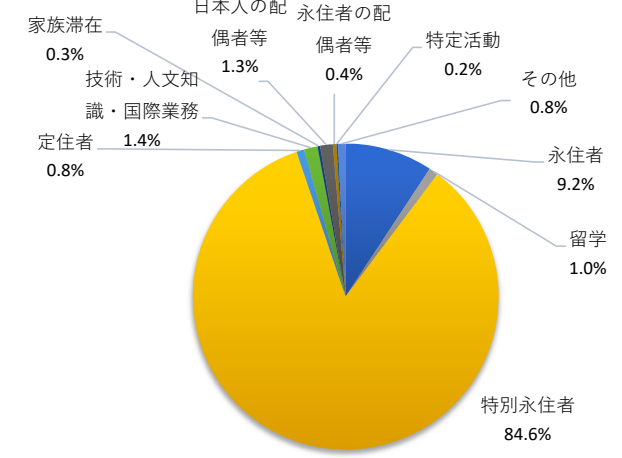
② フィリピン（2,114人）



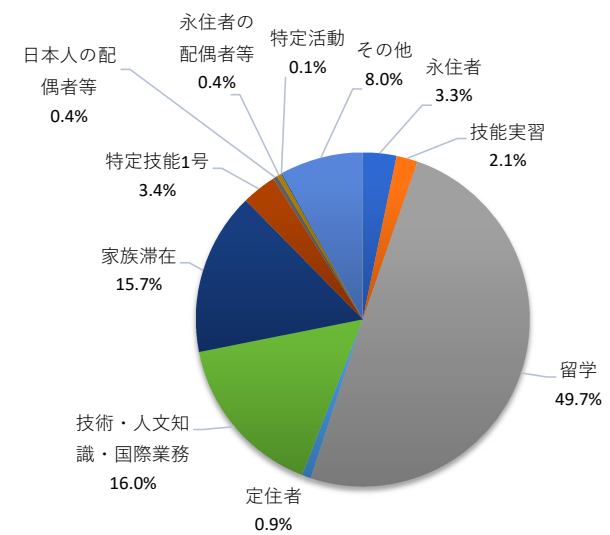
③ ベトナム（1,528人）



④ 韓国・朝鮮（1,114人）



⑤ ネパール（921人）



- ・中国・台湾、フィリピンは「永住者」、ベトナムは「技能実習」、韓国・朝鮮は「特別永住者」、ネパールは「留学」が最も高くなっている。
- ・中国・台湾の「技能実習」、フィリピンの「定住者」も、20%台の高い水準となっている。